



編集メモ

中国では国産の植込み型補助人工心臓（iVAD）の臨床導入が急速に進んでいる。筆者は中国の現状を是非とも自分の目で見てみたいと思い、最近いくつかの施設を訪問した。

初日は復旦大学中山病院を訪問した。2018年9月以来6年ぶりである。低侵襲心臓手術の泰斗である王春生教授にお会いした。中山病院では、大動脈弁閉鎖不全症に対する経カテーテル大動脈弁置換（J-Valve：Suzhou Jiecheng Medical Technology 社）を多数実施し、成績も良好とのことであった。是非とも日本へも導入したいと感じた。2日目は蘇州に移動してCH Bio-medical 社を訪問した。国産の完全磁気浮上型 iVAD である CH-VAD を上市し、すでに 200 例以上の植込み実績を有している。HeartMate 3（Abbott 社）との比較試験である INNOVATE 試験が米国において開始目前であることを説明された。工場は拡張中であり、増産体制を着々と進めているようであった。午後には新幹線に乗って天津へ移動した。復興号と名付けられた新幹線の 1 等車の車内は快適で、お菓子が配られ、5 時間の乗車中ずっと中国茶のサービスがあった。速度が室内に表示され、最高時速 340 km 以上であった。揺れもほとんどなく、中国の技術力の進歩を感じた。

3 日目は、10 年来の親友であり、HeartCon（Rocor Medical Technology 社）の開発者である劉曉程院長を泰達国際心臓血管病院に訪ねた。到着早々に、劉院長自身による HeartCon 装着手術を見学することができた。手術中に多くの質問を投げかけられ、自らの植込み手技をどのように確立していくのかという熱意を強く感じられた。手術後は筆者から日本の iVAD の現状

を若手外科医に紹介させて頂き、熱いディスカッションが繰り広げられた。遅めの昼食では、酒豪の劉院長にワインを振舞われ、楽しい時間を過ごすことができた。4 日目は、新幹線で北京まで移動した。5 年前の訪問では車での移動に 2 時間近くかかった記憶があったが、新幹線ではわずか 30 分で北京南駅へ到着した。午後に阜外病院を訪問した。阜外病院は心臓血管外科手術を世界で最も多く行っている病院で、昨年は約 19,000 例であったと胡院長から説明された。iVAD 施行数も中国国内では最も多く、上記の 2 機種に加え、EVAHEART 1（サンメディカル技術研究所）や深圳発の CorHeart 6（Core Medical 社）も使用していた。心臓血管外科用の手術室が 20 室以上あり、平日には 50 例以上の定時手術があるそうである。病棟を案内頂き、多くの各種 iVAD 装着患者に会うことができた。王現強教授のグループの先生方と、北京ダックが最も美味しいとの評判があるレストランで夕食を頂いた。北京ダックを楽しみつつ、貴州茅台の白酒が振舞われ、大いに友好を深めることができた。

5 日目は、一生に一度は行ってみたいと待ち望んでいた万里の長城の訪問を果たすことができた。週末ということもあり高速道路はかなり渋滞していたが、現地のガイドお勤めの八達嶺長城を訪ねた。万里の長城は秦の始皇帝の時代に建設が始まり、今の規模になったのは 14 世紀の明の時代である。万里とは 5,000 km を指すが、実際は 6,352 km の規模を誇っているようである。石や煉瓦を積み上げ、見張り台や食糧貯蔵倉なども併設されていた。八達嶺には傾斜の強い男坂と軽い女坂があり、筆者は年甲斐もなく男坂に挑んだ。かなり急峻な傾斜を上がる必要があり、大汗をかきながら一番高い見張り台まで到達したときには何にも代えがたい達成感を感じた。当日の夜はお蔭でぐっすり眠ることができた。何とも不思議であるが、日本に中国製の iVAD が輸入される夢を見た。

（小野 稔）

編集顧問	幕内晴朗	近藤丘									
編集主幹	小野稔	千田雅之									
編集	今中和人	岩崎昭憲	碓氷章彦	奥村明之進	笠原真悟						
	亀井尚	坂本喜三郎	澤芳樹	塩瀬明	志水秀行						
	鈴木弘行	伊達洋至	土田正則	松居喜郎	湊谷謙司						
	宮入剛	宮地鑑	横見瀬裕保	横山齊							
胸部外科	第 77 巻 第 10 号（9 月増刊号）[926 冊]				2024 年 9 月 20 日発行						
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号				小立健太						
印刷所	東京都千代田区飯田橋二丁目 15 番 5 号				日経印刷株式会社						

発行所
株式会社 南江堂 ☎113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号
TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660（編集）
03-3811-7239（営業）
ホームページ <https://www.nankodo.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物の利用に關する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本書の無断複写は、著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

広告申込所：☎113-0033 東京都文京区本郷 5-24-6 本郷大原ビル 6 階 文京メディカル 電話 03-3817-8036